

課題：海外赴任の推薦状

あなたは建設会社の一事業部の課長。社内には海外赴任の公募制度があり、あなたの部下である入社8年目の浅田さんが海外赴任のチャンスを得たいと手を挙げるようになった。あなたの課から1名応募することができるため、課内からだれを推薦すべきか考えた。この海外赴任公募制度は入社7年以上15年未満の中堅社員に応募資格があり、将来会社で活躍してくれるであろう人材への教育の一環としても認識されている。応募には、一次選考として海外赴任の推薦状を提出する必要がある、その後二次選考の面接を受ける資格を得る。

あなたは応募してきた部下の浅田さんを候補に選び、一次選考に向けた推薦状を作成することにした。

* * * * *

このたび、課員の浅田さんに海外赴任の機会をいただきたく、推薦させていただきます。推薦の理由は以下3点になります。

まず、浅田さんは海外に行きたいという想いが強く、だれよりもグローバルな環境での仕事に対して高い関心を持っています。今回の海外赴任公募制度にも、一番に手を挙げました。最近では多くの企業が国内だけでなくグローバルで仕事をすることが当たり前の時代となっています。これまでわが社のグローバル化が進まなかったのも、社員のグローバルへの関心の薄さが原因です。しかし、浅田さんは海外のニュースも常々チェックしているようですし、趣味も海外旅行ということで海外への関心の高さが見て取れます。海外で生活することに不安を口にする者も多い中で、浅田さんには物怖じするどころか異文化の環境を楽しめる素地があると考えます。学生のころには積極的に異文化体験に取り組んでいたようで、バックパッカーとして世界を旅したり、日本で外国人の友達を作ったりパーティをしたりしていたようです。こんなにグローバルビジネスに関心の高い人は他にはおりません。やはり浅田さんのように高い関心を持っている人こそが海外に赴任するべきであり、やる気があれば必然的に結果もついてくると思います。野球選手を見てみても、野茂やイチロー、ダルビッシュなど意欲ある選手はメジャーで活躍しています。やる気にあふれた浅田さんであれば、海外でもきっと活躍してくれることでしょう。

次に、浅田さんは責任感の強い人です。様々な困難が想定される海外でのビジネスでも、浅田さんの責任感があれば成功すると思います。先日まで取り組んでいたプロジェクトで、浅田さんはサブリーダーを務めていました。途中、何度もトラブルが発生し、顧客に期限を延ばしてもらうなどの調整も多々ありましたが、なんとかお客様の理解が得られるように努力を惜しまず取り組んでいました。トラブルが起こるたびに顧客と何度も打ち合わせを重ね、解決に向けて粘り強く調整する姿は評価に値すると思います。また、プロジェクトを進めるにあたってメンバーとの衝突も少なくなかったのですが、やはり本音でぶつかるコミュニケーションこそがチームを引っ張るカギだと思います。時にはリーダーも根負けするような議論もあったそうです。浅田さんの、多少の衝突はいとわずに、包み隠さず本音が言えるコミュニケーションスタイルは海外でも十分通用するでしょう。このように、社内外に与える影響力の大きさは海外での仕事でもいかに発揮されるに違いありません。

3点目として、浅田さんは英語を得意としています。両親ともに海外旅行が好きで、浅田さんは英語での日常会話にはなんの不自由もないそうです。私も浅田さんとの営業同行中に、浅田さんの外国人の友人と遭遇しましたが、スムーズに英語でやりとりする浅田さんを間近で見ることができました。外国人との英語でのコミュニケーションに困ることはなさそうです。海外で仕事をするためにはやはり英語はなくてはならないスキルですので、浅田さんの英語の強みが活きると思います。

以上、浅田さんの関心の高さ、責任感、英語力の3点を理由に、海外赴任の候補として推薦させていただきます。